

溪谷のハイキング：龍王峡

深く険しい龍王峡は、約 2200 万年前に発生した海底火山噴火によって形成された岩石が削られてできた谷です。この岩石は海から隆起し、その後長い年月にわたって鬼怒川の水流と水中を転がる石によって浸食されました。「龍王 (dragon king)」という名は、岩の間の曲がりくねった谷の形状が昇龍の姿に似ていることからつけられました。自然研究路は、龍王峡に沿って龍王峡駅から川治温泉まで約 6km (徒歩約 3 時間) 続いています。景観的な見どころのほとんどは、ここで示すコース上の、龍王峡下流約 2km にわたる部分にあります。この短いトレッキングコース上だけでも、3 つの異なる地質現象を見ることができます。上流部の岩石は、その大部分が噴火の初期にできた紫がかった安山岩です。中流部の岩石は主に火山口から様々な岩石片が噴出する際にできる緑色凝灰岩です。下流部の岩石は主に、シリカを多く含み、白く見えるガラス質の細かな粒子を包含する流紋岩という火山岩です。どの部分にも、山腹の浸食や崩壊によってできた印象的な奇岩が見られます。

ハイキングコース

自然研究路のこの区間は、駐車場を出てすぐのところにある大きなモニュメントの隣に位置する龍王峡駅から始まり、上流の川が曲がる場所にある白岩 (white rock) で終わります。このコースは概ね歩きやすい道です。溪谷の土手に沿って進む途中にのぼりくだりはありますが、高低差は比較的小

さく、天候が良ければ初心者でもハイキングが楽しめます。最もきつい区間は白岩から道路へと続く上り坂です。コースの中間あたり、むささび橋を渡ってすぐのところにベンチとトイレのある山小屋があります。

コースの見どころ

コース起点にほど近い五龍王神社は、虹見（Rainbow View）の滝に面した風光明媚な岩崖の上に立っています。この神社は、近くにある 2 つの温泉の守り神である神聖な龍神を祀っています。日光が滝の細かい水しぶきを照らすのを見れば、滝の名前の由来は一目瞭然です。コースを少し進むと、岩から流れ落ちるたくさんの細い水流が豎琴の弦のように見えることからその名が付けられた豎琴（Harp）の滝があります。トレッキング中、親しみのこもった名前をついた様々なスポットを見逃さないようにしましょう：かめ穴（Potholes）は岩が水流によって甕の形に浸食されてできた穴です；兎はね（Hopping Rabbit）は溪谷の最も狭い地点で、その幅は 4m と兎が容易に跳んで渡れるほどです；そして、大観（Grand View）は溪谷の大部分が一望できるポイントです。龍王峡の原生林を構成する木々は、アカマツ、シラカバ、カエデ、ヤマザクラなど多様なので、季節に応じて景色が変わります。木々の多くが葉を落とす冬は、何にも遮られることなく峡谷に連なる水流を一望するには最高の時期のひとつかもしれません。

コースのアドバイス

- コースの道は見通しがよく、よく整備されていますが、地面は岩や木の根が多く、凸凹しています。

歩きやすい靴を履くことを強くおすすめします。

- このコースでは夏の時季を中心に4月から11月にかけてヤマビルがよくみられます。靴にヒルよけ

スプレーをかけることを強くおすすめします。

- 指定のコースから外れないください。

- 写真は好きなだけお撮りください；でも、残して帰るのは足跡だけにしましょう。